

合判模試を活用して、自分の力を確認しよう！

合判模試では、獲得した知識の正確な再現、計算力などが問われる「思考コードA」の問題、論理的な思考力、知識の応用力が問われる「思考コードB」の問題で構成されています。

変換操作	全体関係	変容 3	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選び年代の古い順に並べなさい。	キリスト教の日本伝来は、当時の日本にどのような影響を及ぼしたのか、200字以内で説明しなさい。	もしあなたが、ザビエルのように知らない土地に行って、その土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますか。600字以内で答えなさい。
複雑操作	カテコライズ	複雑 2	ザビエルがしたこととして正しい選択肢をすべて選びなさい。	キリスト教を容認した大名を一人あげ、この大名が行ったこと、その目的を100字以内で説明しなさい。	もしあなたが、ザビエルだとしたら、布教のために何をしますか。具体的な根拠と共に400字以内で説明しなさい。
手順操作	単純関係	単純 1	(ザビエルの写真を見て)この人物の名前を答えなさい。	ザビエルが日本に来た目的は何ですか？50字以内で書きなさい。	もしあなたが、ザビエルの布教活動をサポートするとしたら、ザビエルに対してどのようなサポートをしますか。200字以内で説明しなさい。
(数)	(言語)		A 知識・理解思考 知識・理解	B 論理的思考 応用・論理	C 創造的思考 批判・創造



考えたり、表現したり、何かを生み出したりするための、いわば、「基礎力」がどの程度熟達しているかが問われるテストであるため、合判模試ではA1、A2、B1、B2の問題が出題されます。実際、入試問題の思考コード別出題割合を調べると、次のようになっていることがわかります。

	A1とA2	B1とB2
国語	25%	70%
算数	50%	40%



*東京、神奈川、千葉、埼玉の私立中学校(複数回入試の場合は1回のみ)

配点に対する出題の割合(配点非公表の場合、首都圏模試センター予想)

A1、A2の場合、国語なら全体のおよそ25%、算数なら全体のおよそ50%の出題となります。B1、B2の場合、国語なら全体のおよそ70%、算数なら全体のおよそ40%の出題となります。もちろん、学校によって異なる場合もありますが、合判模試を活用することで、受験で必要とされる知識・技術や思考力の大部分を確認することができます。

模試を活用して、自分の課題を
発見しよう！
受験後の振り返りが大切だよ。

